

Q&A

肝脾腫，発熱，皮疹，肝機能障害を主訴に来院した若年男性，診断は？

【問 題】

症例：19歳男性。

主訴：肝機能障害精査目的。

現病歴：2カ月前より発熱，皮疹，肝機能障害が出現，近医にて感冒として対応されていた。その後肝機能障害は改善傾向を認め皮疹も消退したが，2週間前より右側腹部痛が出現，腹部超音波検査にて肝腫大と胆嚢壁肥厚を指摘されたため，当科紹介となった。

既往歴：特記事項なし。

家族歴：特記事項なし。

生活歴：飲酒歴 機会飲酒，喫煙歴 なし，男性同性間の性交渉歴あり。

アレルギー：なし。

現症：意識レベルJCS 0，体温37.4℃，血圧109/66mmHg，心拍数80/分（整）。

身体所見：眼瞼結膜に貧血なし，眼球結膜に黄染なし，頭頸部リンパ節腫脹なし，皮疹は消失，

肺野呼吸音清，心音純，腹部は平坦かつ軟で右側腹部に軽度圧痛あり，下腿浮腫なし。

血液検査：WBC 10360/ μ l，(Neut 18.6%，Mono 5.8%，Lymph 70.4%，Atypical Lymph 2.3%)，RBC 502万/ μ l，Hb 14.3g/dl，Ht 41.9%，Plt 13.1万/ μ l，PT 95%，TP 7.8g/dl，Alb 4.0g/dl，TB 1.2mg/dl，AST 415IU/l，ALT 819IU/l，LDH 567IU/l，ALP 1033IU/l， γ GTP 1033IU/l，BUN 7.3mg/dl，Cr 0.55mg/dl，AMY 26IU/l，GLU 150mg/dl，CRP 0.11mg/dl，Na 135mEq/l，K 4.1mEq/l，Cl 103mEq/l，Ca 8.9mg/dl，IgG 1466mg/dl，HBs抗原 <0.01U/ml，HCV抗体 <0.1S/CO，EBV抗VCA IgG 20倍，EBV抗VCA IgM <10倍，EBV抗EBNA 10倍，CMVpp65抗原（-）。

画像所見：初診時の腹部単純CT（Figure 1）を示す。

診断は？

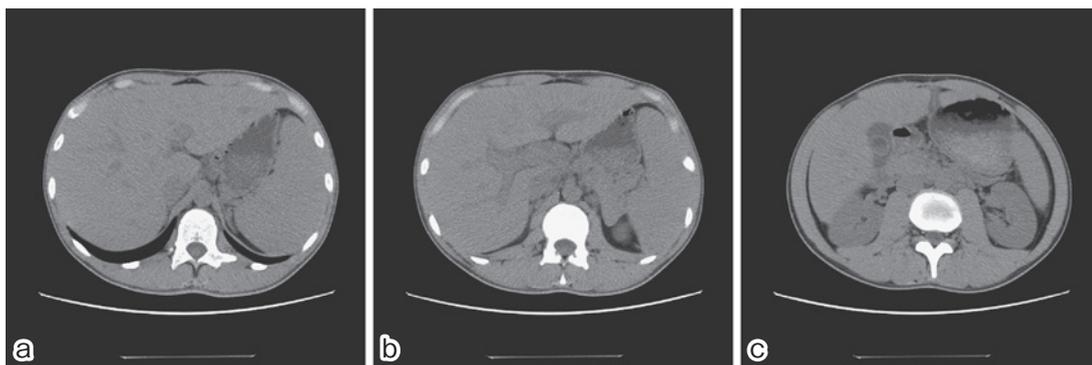


Figure 1. 初診時単純CT：(a) 肝腫大と脾腫を認める。(b) 肝内門脈周囲に低濃度域（periportal collar sign）を認める。(c) 胆嚢内に22mm大の結石を認める。